

強い専大スポーツを取り戻そう

「強い専大スポーツを取り戻そう」。専修大学スポーツ・サポーターズクラブ(代表)宮岡孝之理事長(法科大学院教授)が誕生、



▲ あいさつする宮岡代表

「スポーツ・サポーターズクラブ」誕生

1月27日に神田キャンパスで設立総会が開かれた。専修大学スポーツ・サポーターズクラブ(代表)宮岡孝之理事長(法科大学院教授)が誕生、



▲ 表彰を受ける田中英樹管理部長代理(右)

「かわさき環境シヨウウィンドウ大賞」表彰式

本学生田キャンパスの 取り組みが大賞を受賞

2月2日、川崎市中原区のとろぎアリーナで「かわさき環境シヨウウィンドウ大賞2013」において、「かわさき環境シヨウウィンドウ大賞2013」の表彰式が行われ、大賞を受賞した本学

この賞は、川崎市が行う「平成24年度省エネ創エネ新技術導入促進事業」の一環として設けられ、川崎市内の企業や学校などから応募された。表彰式では受賞者の事例発表も行われ、この取り組みに携わってきた管理課職員がその概要を来場者に紹介した(7面に優れたものを関連記事)。

公開講座情報

専修大学産学連携キャリアシンポジウム2013「社会と大学との間の学びサイクルの活性化」

この賞は、川崎市が行う「平成24年度省エネ創エネ新技術導入促進事業」の一環として設けられ、川崎市内の企業や学校などから応募された。表彰式では受賞者の事例発表も行われ、この取り組みに携わってきた管理課職員がその概要を来場者に紹介した(7面に優れたものを関連記事)。

庄評議員と専大 戸同窓会から寄付

本学評議員の庄茂登彦さん(昭43経営)は、12月12日、神田キャンパスを訪れ、専修大学の教育研究振興協力資金に寄付を贈られた。



▲ 日高理事長(左から2人目)と庄氏(右から2人目)

専大松戸高同窓会から 支援金が贈られた

学と専修大学の学生への支援金を本学に贈られた。昨年12月19日、高田会長ら4人が神田キャンパスを訪れ、日高義博理事長・学長に手渡した。



▲ 専大松戸高同窓会から支援金が贈られた

「東日本大震災」により被災した 学生等に対する支援金のご協力を

「東日本大震災」により、被災した学生への支援金を今年度も募集しております。皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

【郵便振替(郵便局からの振り込み)】
備え付けの用紙を使用してお振り込みをお願いします。通信欄に大学との関係等をご記入ください。なお、手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

口座記号番号: 00140-1-612204
加入者名: 学校法人専修大学寄付金口

寄付者のご芳名を大学広報紙「ニュース専修」と大学のホームページ上に掲載します。
※この支援金は寄付金控除の対象となります。

専修大学募金局 ☎03(3265)3157

校友会からのお知らせ

室蘭支部総会
2月15日(金) 18時30分開会

校友会主催 新校友歓迎祝賀会

日時: 3月22日(金) 午後1時30分(予定)
会場: 神田キャンパス1階広場(雨天時は地下1階学生ホール)

専修人の新しき本

佐賀のばいばあちゃん
てげなかなちゃん



先日の総選挙で初当選を果たし、宮崎県政から国政へと活躍の場を移した東国原英夫さん(昭55経済)がタレントの島田洋七氏と、いま日本から失われつつある家族の絆について縦横に語り尽く

生涯メールアドレス

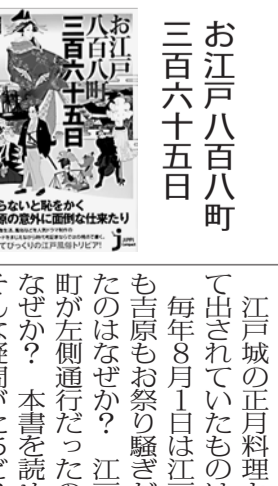
登録対象者は1998年(平成10年)3月以降に卒業した方となります。登録方法、利用方法は、校友会ホームページをご覧ください。

年会費納入のお願い

13年度の校友会年会費を受け付けています。振込用紙をお持ちでない方は事務局(03(3265)7579)までご連絡ください。

お江戸八百八町

お江戸八百八町 三百六十五日



ドラマ「JIN-仁」(TBS)など数々のテレビ番組の時代考証を手掛けている山田順子さん(昭51文)。本書では江戸の食生活、風俗な

松浦さんら12人が最終報告

小田急電鉄の効果的PR考案

専修大学と小田急電鉄の連携協定を受け、キャリアデザインセンター主催の課題解決型インターンシップにおいて、小田急電鉄の企業PR企画・立案をテーマとしたプログラムを実施。その最終報告



まとめ上げたもので、学生12人がABCの3つのチームに分かれて発表した。Aチームは、小田急グループのホテルを訪れ、飲料水の源泉を探す「ミステリーツアー」や子ども向けの工場見学を企画。Bチームは「帰りのくくなる沿線」をコンセプトに小田急沿線を舞台に描かれたアニメとのタイアップを提案。Cチームは、若い世代に人気のある街の特色を分析し、効果的なPR方法を考えた。小田急CSR担当者から「着眼点やテーマ設定に工夫がみられた」「論理的な説得力、斬新な発想力が光った」との講評を受け、リーダーの松浦輝直さん(商3)は大きな自信を得た。「物事を主体的にとらえる力と、臆することなく自分の意見を発言できる度胸がついた」と活動を振り返った。